

第2節 予防対策

1 感染症

(1) 感染症予防事業

「感染症の予防及び感染症の患者に対する医療に関する法律」に基づき、感染症に対する正しい知識の普及啓発を行うとともに感染症の発生予防やまん延防止のため、感染症の発生情報を提供している。また、感染症の診断を行った医師からの届出を受けて、患者・家族等に対する積極的疫学調査を行い、接触者の健康診断及び保健指導を実施し、感染拡大の防止に努めている。

① 1～3類感染症の発生状況

A. 年度別発生状況

(単位：件)

分類	疾患名	区分	平成20年度	平成21年度	平成22年度	平成23年度	平成24年度
1類	エボラ出血熱、ペスト等	患者等	—	—	—	—	—
2類	急性灰白髄炎	患者等	—	—	—	—	—
	ジフテリア	患者等	—	—	—	—	—
	重症急性呼吸器症候群	患者等	—	—	—	—	—
	結核	患者等	78	59	70	95	70
2類感染症 小計			78	59	70	95	70
3類	腸管出血性大腸菌感染症	患者	12	6	11	17	4
		無症状病原体保有者	3	—	—	4	5
	コレラ	患者等	—	—	—	—	—
		無症状病原体保有者	—	—	—	—	—
		疑似症患者	—	—	—	—	—
	細菌性赤痢	患者	—	—	—	2	—
		疑似症患者	—	—	—	—	—
	腸チフス	患者	—	—	—	—	—
		無症状病原体保有者	—	—	—	—	—
		疑似症患者	—	—	—	—	—
	パラチフス	患者	—	—	1	—	—
		無症状病原体保有者	—	—	—	—	—
疑似症患者		—	—	—	—	—	
3類感染症 小計			15	6	12	23	9

※平成19年4月に「感染症の予防及び感染症の患者に対する医療に関する法律」が改正され、感染症分類の見直しが行われた。コレラ・細菌性赤痢・腸チフス・パラチフスが2類から3類に変更され、新たに、結核・重症急性呼吸器症候群が2類感染症に位置づけられた。

B. 月別発生状況

(単位：件)

分類	疾患名	平成24年										平成25年			計
		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月		
1類	エボラ出血熱、ペスト等	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
2類	結核	8	10	4	6	4	7	0	5	1	7	12	6	70	
	急性灰白髄炎	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	
	ジフテリア	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	
	重症急性呼吸器症候群	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	
3類	腸管出血性大腸菌感染症	—	—	5	—	3	—	1	—	—	—	—	—	9	
	コレラ	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	
	細菌性赤痢	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	
	腸チフス	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	
	パラチフス	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	
計		8	10	9	6	7	7	1	5	1	7	12	6	79	

② 集団感染（疑）事例の発生・対応状況

(単位：件)

感染症の種類	病原体の種類	施設の種別				施設数
		医療機関	介護保険施設	保育園	その他	
感染性胃腸炎	ノロウイルス	—	2	7	—	9
感染性胃腸炎	ロタウイルス	—	—	3	—	3
感染性胃腸炎	アデノウイルス	—	—	—	—	—
感染性胃腸炎	不検出	1	3	3	—	7

③ 感染症予防啓発（健康教育・研修会など）

1) 感染症対策従事者研修会（基礎編）

テーマ	結核の現状と必要な対策
日時	平成 24 年 8 月 6 日 10:00～11:30 平成 24 年 8 月 29 日 10:00～11:30
対象者	市内の保健・教育・福祉等関係者
講師	大津市保健所保健予防課 中村由紀子（医師）
参加者数	計 100 人

感染症対策従事者研修会（医療従事者対象）

テーマ	結核の現状と必要な対策～結核の診断と治療について～
日時	平成 24 年 9 月 27 日 15:00～16:00
対象者	市内の医療・保健関係者
講師	公益財団法人結核予防会結核研究所 加藤誠也副所長
参加者数	76 人

当課で企画している研修会以外にも、団体より依頼のあった研修会に講師として出動している。

2) 感染症対策出前研修会

テーマ	施設における感染予防について
内容	標準的予防策・疾患の理解（結核・ノロウイルス感染症・肝炎・H I V・インフルエンザ）・初動活動の基本（ノロウイルス感染症アウトブレイクの検証）
対象施設	社会福祉施設（通所・入所施設を優先）
講師	感染症対策担当保健師
出前施設数	6 施設
参加者数	114 人

3) 感染管理実務担当者会議

議題	①情報提供（感染症の発生状況・感染症対策に関する事業） ②各施設における平時の感染症対策について情報交換 ③講座「併設の老人福祉施設への感染症対策支援について」
日時	平成 24 年 7 月 20 日 15:30～17:30
対象者	市内病院感染管理看護師・感染症対策担当者、社会福祉施設の感染症対策担当者 市役所所管課（福祉・教育関係課）の感染症対策担当者
参加者数	28 人

4) 感染症発生動向調査委員会

平成 22 年度から実施していた感染症発生動向調査委員会は、滋賀県において同会議を実施されており、当課より委員として参加していることから、平成 24 年度より委員会の開催を取りやめた。

④ 高病原性鳥インフルエンザ対策

市内での発生を想定し、マニュアルに沿った保健所職員の研修会及び防疫作業に従事する県職員を対象に防護服の着脱研修会を実施した。

開催日	参加者 (人)	内容
平成 24 年 11 月 28 日	保健所職員 17 人	・ 高病原性鳥インフルエンザ発生時における保健所の役割 ・ 防護服着脱演習
同 11 月 30 日	保健所職員 9 人	・ 高病原性鳥インフルエンザ発生時における保健所の役割 ・ 防護服着脱演習・防護服着脱演習
同 12 月 27 日	滋賀県庁職員 65 人	・ 防護服着脱演習 ・ 殺処分従事時当日の流れ

2 結核予防

「感染症の予防及び感染症の患者に対する医療に関する法律」に基づき、結核患者発生時対策、療養支援、接触者健康診断、登録患者の管理等を行い、結核の発生日予防及び患者の早期発見から感染拡大防止を図っている。

(1) 感染症法第 37 条の規定による結核医療費の被保険者等別公費負担の状況 (単位：件)

区 分	被用者保険		国民健康保険			後期高齢者医療保険	生活保護法	その他	合計
			一般	退職					
	本人	家族		本人	家族				
前 年 末 数	-	-	2	-	-	-	-	-	2
新規承認数	2	-	2	-	-	16	-	-	20
解 除 数	2	-	3	-	-	15	-	-	20
本 年 末	-	-	1	-	-	1	-	-	2

※入院勧告を実施した場合における当該患者が感染症指定医療機関において受ける医療に要する費用を公費負担するもの（平成 24 年 1 月～12 月末）

(2) 感染症法第 37 条の 2 の規定による結核医療費の被保険者別公費負担の状況 (延件数)

区 分	被用者保険		国民健康保険			後期高齢者医療保険	生活保護法	その他	合計
			一般	退 職					
	本 人	家 族		本人	家族				
申 請	33	6	15	2	1	28	-	1	86
承 認	32	6	15	2	1	28	-	1	85
不承認	1	-	-	-	-	-	-	-	1

※結核患者が結核指定医療機関において厚生労働省で定める医療を受けるために必要な費用の 95%に相当する額を公費負担するもの（平成 24 年 1 月～12 月末）

(3) 結核新登録状

新登録患者状況（年齢階級別）

(単位：人)

年齢	新登録患者		活動性結核							潜在性結核感染症（別掲）
			活動性肺結核						肺外結核	
	患者数	罹患率	総数	喀痰塗抹陽性			その他の結核菌陽性	菌陰性・その他		
				初回治療	再治療	計				
0～4 歳	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
5～9 歳	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
10～14 歳	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
15～19 歳	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
20～29 歳	1	2.7	1	-	-	-	-	1	-	4
30～39 歳	3	6.4	3	2	-	2	1	-	-	5
40～49 歳	3	6.1	3	-	-	-	1	2	-	4
50～59 歳	2	4.8	2	-	-	-	1	1	-	2
60～69 歳	5	10.4	3	1	-	1	1	1	2	-
70 歳以上	27	51.9	16	12	1	13	3	-	11	1
合 計	41	12.0	28	15	1	16	7	5	13	16

(平成 24 年 1 月～12 月末)

(4) 結核登録者状況

登録者状況 (年齢階級別)

(単位:人)

区分	登録患者		活動性結核								有病率	不活動性結核	不明	潜在性結核感染症 (別掲)
	登録者数	登録率 (人口10万対)	活動性結核総数	活動性肺結核					肺外結核					
				登録時喀痰塗抹陽性			登録時その他の結核菌陽性	その他						
				初回治療	再治療	計								
0~4歳	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	3
5~9歳	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2
10~14歳	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2
15~19歳	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1
20~29歳	3	8.2	1	1	-	-	-	-	1	-	2.7	1	1	8
30~39歳	18	38.4	2	2	-	-	-	1	1	-	4.3	6	10	9
40~49歳	15	30.4	2	2	-	-	-	-	2	-	4.1	3	10	14
50~59歳	11	26.5	-	-	-	-	-	-	-	-	-	4	7	10
60~69歳	32	66.5	3	1	1	-	1	-	-	2	6.2	20	9	6
70歳以上	77	147.9	16	7	3	2	5	1	1	9	30.7	37	24	4
合計	156	45.7	24	13	4	2	6	2	5	11	7.0	71	61	59

(平成24年12月末現在)

(5) 結核登録除外状況

(単位:件)

区分	死亡		観察不要	転出	転症	その他の理由	計
	結核	その他					
大津市	4	17	2	5	5	2	35

(平成24年1月~12月末)

(6) 結核患者保健指導 (平成24年)

新規登録患者に対しては、積極的疫学調査及び服薬支援等を目的に全数実施している。

対象者 (新規登録者): 57人

実施方法及び件数: 訪問 29件、来所 13件、電話 15件

(7) DOTS (直接服薬確認療法) 事業 (平成24年)

大津市結核患者療養支援事業実施要領を策定し、服薬継続のためのアセスメント票に基づき、訪問・電話等により継続的な服薬支援を実施している。

対象者: 110人

実施方法及び件数 (延べ): 訪問 43件、電話 70件、来所 36件

(8) 接触者健康診断 (平成24年度)

結核患者の発生届けを受理し、積極的疫学調査の結果、結核に感染していると疑われる者について法律第17条により、二次感染による患者の発生予防及び早期発見のため健康診断を実施している。

対象者数: 534人、受診者総数: 518人 (職場健診等他機関実施分18人含む)、受診率: 97.0%

健診結果: 異常なし 504人、潜在性結核感染症 14人、肺結核 0人

区分		保健所 実施分	医療機関 委託分
受診者数 (延件数)		444	56
内訳	胸部エックス線検査	236	56
	ツベルクリン反応検査	9	4
	クオンティフェロン検査	254	-
	喀痰検査	-	2

単位: 件

※検査項目の

重複実施あり

3 特定感染症

「性感染症に関する特定感染症予防指針」（平成 12 年 2 月厚生省告示第 15 号）及び「後天性免疫不全症候群に関する特定感染症予防指針」（平成 18 年 3 月厚生労働省告示第 89 号）に基づき、正しい知識の普及啓発を行うとともに、H I V 抗体検査、梅毒検査、肝炎ウイルス検査を実施している。

また、「特定感染症検査事業の実施についての一部改正について」（平成 23 年 3 月 29 日厚生労働省健康局長通知）に基づき、「大津市 HTLV-1 相談・検査事業実施要領を定め、平成 23 年 9 月より HTLV-1 抗体検査を実施している。

(1) 相談数

(単位：件)

区 分		来所 (検査時含む)	電話	合計	
梅毒	男	166	6	172	
	女	96	0	96	
H I V	男	320	41	361	
	女	189	8	197	
	相談内容延件数 (単位：件)		923	115	1038
	相 談 内 容	症状について	254	41	295
		検査について	299	40	339
		感染経路	201	23	224
		予防方法	143	4	147
		患者発生状況	13	4	17
	その他	13	3	16	
H B s	男	176	2	178	
	女	105	3	108	
H C V	男	169	-	169	
	女	99	-	99	
HTLV-1	男	1	-	1	
	女	1	1	2	

(2) 特定感染症検査実施状況

【検査日時】

毎月第 2・4 火曜日 13:10~15:30 計 23 回

即日検査 (H I V 抗体、梅毒、B 型肝炎ウイルス検査、C 型肝炎ウイルス検査)

毎月第 2 火曜日 16:00~16:30 計 11 回

通常検査 (HTLV-1 抗体検査)

○検査受検者数

(単位：人)

区 分		19 歳以下	20~29 歳	30~39 歳	40~49 歳	50 歳以上	合計
梅毒	男	3	58	56	30	15	162
	女	3	55	21	13	3	95
H I V	男	3	59	61	31	16	170
	女	3	55	22	14	3	97
H B s	男	3	57	57	30	16	163
	女	3	56	22	12	4	97
H C V	男	3	58	57	30	16	164
	女	3	53	22	12	4	94
HTLV-1	男	-	1	-	-	-	1
	女	-	-	-	1	-	1

(3) H I V 普及啓発事業

H I V・エイズに関する正しい知識の普及を目的に市内店舗の協力や大学との連携により啓発活動を行っている。

○H I V検査普及週間関連イベント（平成 24 年 6 月 1 日～6 月 7 日）

協力店舗（市内自動車教習所）5 施設に啓発資材を設置

啓発資材配布数：768 部

○おおつ健康フェスティバル

啓発コーナーの設置

○世界エイズデー関連イベント（平成 24 年 12 月 1 日～12 月 9 日）

協力店舗（コンビニエンスストア）13 店舗に啓発資材を設置

啓発資材配布数：1,163 部

保健所ロビーに啓発コーナーを設置

大学の啓発イベントへ資材提供：2 校（啓発資材配布数：1,340 部）

○啓発ポスターの作成、掲示依頼

50 機関（大学・専門学校：12 高校：12 病院：15 公共施設：10 医師会 1）

（４）緊急肝炎ウイルス検査

ウイルス性肝炎のハイリスク者で過去に肝炎ウイルス検査を受けたことがない方を対象として、指定医療機関において肝炎ウイルス検査（B型・C型）を実施している。

○受検者数

（単位：人・件）

区 分	実人数	検査種別（延べ件数）	
		HBs	HCV
受検者数	4	3	4

（５）肝炎治療特別促進事業申請受付

滋賀県からの委託を受けて、肝炎治療特別促進事業（インターフェロン治療・核酸アナログ製剤治療に係る医療費を助成し、患者の治療へのアクセスを改善することにより、肝硬変・肝がんの予防を図ることを目的とする。）の申請受付を行っている。

○申請受付状況

（単位：件）

種別・性別	年齢	～19 歳	20～29 歳	30～39 歳	40～49 歳	50～59 歳	60～69 歳	70～79 歳	80 歳以上	計
		B型肝炎 インターフェロン 治療	男	-	-	1	1	-	1	-
	女	-	-	-	1	-	-	-	-	1
	計	-	-	1	2	-	1	-	-	4
C型肝炎 インターフェロン 治療	男	-	1	-	5	9	8	5	-	28
	女	-	2	-	2	5	13	4	1	27
	計	-	3	-	7	14	21	9	1	55
インターフェロン 治療	男	-	1	1	6	9	9	5	-	31
	女	-	2	-	3	5	13	4	1	28
	計	-	3	1	9	14	22	9	1	59
B型肝炎 核酸アナログ製剤 治療	男	-	-	6	26	22	14	8	-	76
	女	-	-	1	12	12	14	3	-	42
	計	-	-	7	38	34	28	11	-	118
インターフェロン治療 核酸アナログ製剤 治療 合計	男	-	1	7	32	31	23	13	-	107
	女	-	2	1	15	17	27	7	-	70
	計	-	3	8	47	48	50	20	-	177

4 予防接種

伝染のおそれがある疾病の発生及びまん延を予防し、公衆衛生の向上及び増進に寄与することを目的として、予防接種法第3条に基づき各種予防接種を実施している。

また、平成23年2月より任意接種ワクチン（ヒブ・小児用肺炎球菌・子宮頸がん）の公費助成を開始し、平成24年9月よりポリオが生ワクチンから不活化ワクチンに変更され、平成24年11月より四種混合ワクチン（ジフテリア・百日咳・破傷風・ポリオ）が導入された。

(1) 定期接種予防接種者数

①ポリオ

(単位:件・%)

年度	対象者数		計	対象接種者数			接種率	対象外接種者数 ※1			総接種者数
	1回目	2回目		1回目	2回目	計		1回目	2回目	計	
22	3,264	3,234	6,498	2,242	1,750	3,992	61.3	808	1,443	2,251	6,243
23	3,256	3,340	6,596	2,407	2,692	5,099	77.3	101	78	179	5,278
24											14,040 ^{※2}

※1. 対象外接種者とは、定期接種対象年齢で、市が指定する標準的な対象年齢以降に接種した者である。

※2. 総接種者数内訳

平成24年4月～平成24年8月	単抗生ワクチン接種者数	2,010件
平成24年9月～平成25年3月	単抗不活化ワクチン接種者数	延べ 10,055件
平成24年11月～平成25年3月	四種混合ワクチン接種者数	延べ 1,975件

②四種混合（百日咳・ジフテリア・破傷風・ポリオ）(単位:件)

年度	I期初回			I期追加	合計
	1回目	2回目	3回目		
24	889	667	418	1	1,975

(平成24年11月～平成25年3月末)

③三種混合（百日咳・ジフテリア・破傷風）(単位:件)

年度	I期初回			I期追加	合計
	1回目	2回目	3回目		
22	3,150	3,122	3,110	3,234	12,616
23	3,096	3,116	3,098	3,119	12,429
24	2,011	2,342	2,554	3,258	10,165

④BCG

(単位:件・%)

年度	対象者	接種者	接種率
22	3,181	2,965	93.2
23	2,935	2,806	95.6
24	2,966	2,771	93.4

⑤高齢者インフルエンザ

(単位:件・%)

年度	対象者	接種者	接種率
22	67,949	33,980	50.0
23	69,612	34,103	48.9
24	71,246	34,995	49.1

⑥日本脳炎

(単位：件・%)

年度	I 期 (初回接種)				I 期 (追加接種)			II 期 (追加接種)			延べ接種者数
	対象者	接種者		接種率	対象者	接種者	接種率	対象者	接種者	接種率	
		1 回目	2 回目								
22	3,250	6,776	6,583		3,102	2,425		3,429	1,814		17,598
23	3,237	5,713	5,535		3,285	6,209		3,437	7,156		24,613
24	3,170	3,983	4,074		3,264	5,347		3,528	2,041		15,445

※

※1. 接種率は特例対象者がいるため出していない。

※2. 平成 17 年 5 月 30 日から平成 22 年 3 月末まで、接種勧奨を差し控えた。

※3. 平成 22 年 4 月 1 日から 3 歳児の接種勧奨を再開。

※4. 平成 23 年 5 月 20 日より、平成 7 年 6 月 1 日から平成 19 年 4 月 1 日までに生まれた者を特例対象者として、接種年齢が緩和された。

⑦二種混合 (ジフテリア・破傷風) (単位：件・%)

年度	対象者	接種者	接種率
22	3,652	2,790	76.4
23	2,935	2,806	95.6
24	3,424	2,762	80.6

⑧麻しん・風しん

(単位：件・%)

年度	第 1 期				第 2 期			
	対象者	接種者		接種率	対象者	接種者		接種率
22	3,011	麻風混合	2,949	98.0	3,222	麻風混合	3,026	94.1
		麻しん	-			麻しん	2	
		風しん	1			風しん	3	
23	3,108	麻風混合	2,874	92.5	3,253	麻風混合	2,830	86.9
		麻しん	3			麻しん	-	
		風しん	-			風しん	-	
24	3,106	麻風混合	3,130	100.8	3,126	麻風混合	3,097	99.1
		麻しん	-			麻しん	-	
		風しん	-			風しん	-	

年度	第 3 期				第 4 期				延べ接種者数	
	対象者	接種者		接種率	対象者	接種者		接種率		
22	3,454	麻風混合	2,794	80.9	3,449	麻風混合	2,461	72.9	麻風混合	11,230
		麻しん	-			麻しん	-		麻しん	2
		風しん	2			風しん	50		風しん	56
23	3,447	麻風混合	3,040	88.2	3,438	麻風混合	2,939	86.1	麻風混合	11,683
		麻しん	-			麻しん	2		麻しん	5
		風しん	3			風しん	21		風しん	24
24	3,650	麻風混合	3,068	84.2	3,392	麻風混合	2,278	67.4 ※	麻風混合	11,573
		麻しん	1			麻しん	2		麻しん	3
		風しん	3			風しん	7		風しん	10

※平成 23 年度中に平成 24 年度対象者が接種しているため、4 期としては 80.2%の接種率となる。

(2) 任意接種費用助成件数

ヒブ 平成 24 年度：12,532 件 (対象者：生後 2 ヶ月から 5 歳未満)

小児用肺炎球菌 平成 24 年度：12,739 件 (対象者：生後 2 ヶ月から 5 歳未満)

子宮頸がん 平成 24 年度：4,839 件 (対象者：中学校 1 年生から高校 1 年生の女性)

※いずれも全額公費負担

5 特定疾患

当該事業は、滋賀県特定疾患治療研究事業であり、県から委託を受け特定疾患医療受給者証の申請受付及び経由事務を行っている。

(1) 特定疾患医療受給者証申請者数

(平成 25 年 3 月 31 日現在) (単位：件)

医療受給者数	新規申請者数	更新申請者数
2,235	337	2,111

(2) 特定疾患医療受給者数

(平成 25 年 3 月 31 日現在) (単位：件)

	疾患名	合計	男	女	0～ 19 歳	20～ 29 歳	30～ 39 歳	40～ 49 歳	50～ 59 歳	60～ 69 歳	70 歳 以上
1	ベーチェット病	36	19	17	-	1	2	4	10	8	11
2	多発性硬化症	48	6	42	2	5	11	12	9	3	6
3	重症筋無力症	55	16	39	1	-	1	6	10	17	20
4	全身性エリテマトーデス	122	20	102	3	13	22	23	23	23	15
5	スモン	6	-	6	-	-	-	-	-	1	5
6	再生不良性貧血	24	6	18	1	1	3	1	4	2	12
7	サルコイドーシス	48	13	35	-	1	7	3	7	12	18
8	筋萎縮性側索硬化症	15	4	11	-	-	1	2	3	4	5
9	強皮症、皮膚筋炎及び多発性筋炎	87	13	74	-	-	5	5	16	25	36
10	特発性血小板減少性紫斑病	56	13	43	-	2	3	10	8	10	23
11	結節性動脈周囲炎	19	8	11	-	-	2	2	2	5	8
12	潰瘍性大腸炎	498	276	222	10	52	91	120	89	82	54
13	大動脈炎症候群	10	-	10	-	-	3	2	-	1	4
14	ビュルガー病	18	15	3	-	-	2	-	2	6	8
15	天疱瘡	9	4	5	-	-	1	-	2	4	2
16	脊髄小脳変性症	56	26	30	-	1	1	4	6	21	23
17	クローン病	91	60	31	4	18	24	21	10	9	5
18	難治性の肝炎のうち劇症肝炎	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
19	悪性関節リウマチ	22	6	16	-	-	1	1	5	10	5
20	パーキンソン病関連疾患	398	171	227	-	-	2	2	20	76	298
21	アミロイドーシス (原発性)	6	4	2	-	-	-	-	-	3	3
22	後縦靭帯骨化症	65	42	23	-	-	1	3	9	18	34
23	ハンチントン舞踏病	5	4	1	-	-	-	2	1	1	1
24	モヤモヤ病	38	18	20	6	4	6	9	7	5	1
25	ウェゲナー内芽腫症	2	1	1	-	-	-	-	-	1	1
26	特発性拡張型 (うっ血型) 心筋症	129	101	28	-	4	7	13	17	40	48
27	多系統萎縮症	44	18	26	-	-	-	1	4	11	28
28	表皮水疱症 (接合部型及び栄養障害型)	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
29	膿疱性乾癬	5	3	2	1	-	-	2	1	1	-
30	広範脊柱管狭窄症	18	14	4	-	-	-	-	-	8	10
31	原発性胆汁性肝硬変	50	9	41	-	-	-	2	8	22	18
32	重症急性膵炎	6	5	1	-	-	1	-	1	3	1
33	特発性大腿骨頭壊死症	51	28	23	-	2	6	7	10	11	15
34	混合性結合組織病	20	5	15	1	-	2	3	5	4	5
35	原発性免疫不全症候群	1	1	-	-	-	1	-	-	-	-
36	特発性間質性肺炎	22	17	5	-	-	1	-	2	4	15
37	網膜色素変性症	59	23	36	-	-	3	5	9	19	23
38	プリオン病	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
39	原発性肺高血圧症	7	3	4	-	1	2	1	-	2	1
40	神経線維腫症	12	6	6	3	2	1	1	1	3	1
41	亜急性硬化性全脳炎	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
42	バッド・キアリ (Budd-chiari) 症候群	4	3	1	-	-	-	1	-	2	1
43	特発性慢性肺血栓塞栓症 (肺高血圧)	3	-	3	-	-	-	-	1	1	1
44	ライゾゾーム病 (ファブリー病含む)	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-

	疾患名	合計	男	女	0～ 19歳	20～ 29歳	30～ 39歳	40～ 49歳	50～ 59歳	60～ 69歳	70歳 以上
45	副腎白質ジストロフィー	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
46	家族性高コレステロール血症	1	-	1	-	-	-	-	-	-	1
47	脊髄性筋萎縮症	4	3	1	1	-	-	1	-	-	2
48	球脊髄性筋萎縮症	3	3	-	-	-	-	-	1	1	1
49	慢性炎症性脱髄性多発神経炎	8	6	2	-	-	-	1	4	3	-
50	肥大型心筋症	9	4	5	-	-	-	1	-	4	4
51	拘束型心筋症	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
52	ミトコンドリア病	2	1	1	-	-	-	1	-	-	1
53	リンパ脈管筋腫症 (LAM)	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
54	重症多形滲出性紅班 (急性期)	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
55	黄色靱帯骨化症	7	5	2	-	-	-	1	-	-	6
56	間脳下垂体機能障害	36	15	21	-	6	8	3	7	10	2
	合計	2,235	1,018	1,217	33	113	221	276	314	496	782

6 難病

難病対策推進事業

当該事業は、国の難病特別対策推進事業実施要綱に基づき、難病患者等に対し、総合的な相談・支援や在宅療養上の適切な支援を行うことにより安定した療養生活の確保と難病患者およびその家族の生活の質(QOL)の向上に資することを目的として実施している。

(1) 特定疾患新規申請及び更新申請時面接相談 (単位：件)

新規申請者数	新規申請時面接相談	更新申請者数	更新申請時面接相談
337	316	2,111	1,191

(2) 難病患者訪問指導及び面接相談 (単位：件)

	訪問指導		面接相談	
	実人数(人)	延べ件数(件)	実人数(件)	延べ件数(件)
筋萎縮性側索硬化症	12	33	2	3
その他の難病	16	27	38	41
計	28	60	40	44

(3) 医療講演会及び相談会

① モヤモヤ病(ウィリス動脈輪閉塞症)医療講演会及び相談会(草津保健所と合同開催)

開催日・場所	大津管内参加人員	内 容
平成24年9月29日 草津保健所	患者 4人	講演：「モヤモヤ病(ウィリス動脈輪閉塞症)の基礎知識と日常生活の過ごし方」 講師：齋木 雅章 氏(医師) (滋賀県立成人病センター脳神経外科)
	家族 2人	
	計 6人	
	(参加総数 18人)	

② 脊髄小脳変性症・多系統萎縮症医療講演会(草津保健所と合同開催)

開催日・場所	大津管内参加人員	内 容
平成24年10月13日 大津市立障害者福祉センター	患者 11人	講演：「脊髄小脳変性症・多系統萎縮症のリハビリについて」 講師：中馬 高容 氏(医師) (滋賀県立成人病センターリハビリテーション医療部リハビリテーション課)
	家族 16人	
	計 27人	
	(参加総数 39人)	

③ パーキンソン病医療講演会及び従事者研修会

開催日・場所	参加人員	内 容
平成24年10月19日 大津市役所別館 1階大会議室	患者 11人	講演：「自宅でできるリハビリテーション」 講師：大橋 潤一 (理学療法士) (大津市保健所保健総務課)
	家族 8人	
	関係機関 44人	
	計 63人	

(4) 難病従事者研修会

① 神経難病従事者研修会 1

開催日・場所	参加人員	内 容
平成 24 年 11 月 12 日 大津市役所別館 1 階大会議室	介護支援専門員 37 人 訪問介護員 5 人 その他 10 人 計 52 人	講演：「チームケア支援を進めるために ～看護と介護の連携から～」 講師：原田 小夜 氏 (聖泉大学 看護学部看護学科 准教授)

② 神経難病従事者研修会 2

開催日・場所	参加人員	内 容
平成 25 年 2 月 15 日 大津市生涯学習 センター	介護支援専門員 39 人 訪問介護員 4 人 その他 5 人 計 48 人	講演：「神経難病患者の環境整備に必要な基礎知識 ～住宅改修や福祉用具の選択・評価の視点について～」 講師：三野 泰幸 氏 (滋賀県作業療法士会 副会長)

③ 災害対策従事者研修会

開催日・場所	参加人員	内 容
平成 24 年 12 月 11 日 大津市役所別館 1 階大会議室	介護支援専門員 31 人 訪問介護員 3 人 その他 13 人 計 47 人	講演：「医療ケアを必要とする難病患者の災害対策について ～自助への支援と関係機関に期待する役割～」 講師：井上 勝哉 氏 (臨床工学技師) (一般社団法人 京都府臨床工学技士会 災害対策部)

(5) ケース検討会

筋萎縮性側索硬化症等の神経難病を中心に、多機関でチーム支援を必要とするケースに対して関わる地域スタッフとともに支援方法について検討した。年 32 回実施

(6) ケアマネジメント・アドバイザー事業

関係スタッフだけでは解決困難なケースの処遇等を検討する場を設け、より適切で円滑な療養支援を図ると共に患者・家族のQOLの向上を図るために難病患者におけるケアマネジメント・アドバイザー事業を 2 回開催した。

○人工呼吸器を装着した在宅難病患者の災害時の備えと蘇生バッグの使用方法を確認した。

アドバイザー：大津市民病院 吉村 規子 (臨床工学技師)

参加者：介護支援専門員、訪問看護師、訪問介護員、地域住民等 24 人

○在宅難病患者のコミュニケーション機器の検討をした。

アドバイザー：滋賀県社会就労事業振興センター 市田 恭子 氏 (障害者 IT 利用推進コーディネーター)

参加者：保健師等 4 人

(7) 在宅療養支援体制の整備に関する事業

① 神経難病患者を担当する介護支援専門員現状調査

開催日・場所	調査対象	内 容
平成 24 年 8 月 17 日～9 月 5 日	大津市に勤務する介護支援専門員で平成 23 年 4 月 1 日～平成 24 年 7 月末までに神経難病患者の担当経験がある者	・難病患者に対する介護支援専門員の実情や課題の把握

② 難病患者の在宅医療あり方検討会

調査期間	出席者	内 容
平成 24 年 10 月 4 日 大津市保健所大会議室	在宅医、介護支援専門員、 訪問看護師等 15 人	・難病患者の在宅療養生活の実情と今後の支援のあり方について
同年 12 月 6 日 大津市保健所大会議室	在宅医、介護支援専門員、 訪問看護師、病院地域連携 担当者等 16 人	・難病患者を担当する病院と地域の支援者との連携の実情と支援のあり方について

③ 神経難病在宅支援対策推進会議災害支援部会

調査期間	出席者	内 容
平成 24 年 9 月 6 日 大津市立障害者 福祉センター	専門医、在宅医、病院地域 連携担当者、介護支援専門 員、訪問看護師等 27 人	・医療ケアを必要とする者の災害時の課題と関係機関が平時・発災時にできる支援について
同年 11 月 22 日 大津市保健所大会議室	専門医、在宅医、病院地域 連携担当者、介護支援専門 員、訪問看護師等 25 人	・災害時支援マニュアルの素案について

④ 大津市神経難病在宅支援対策推進会議

開催日・場所	出席者	内 容
平成 25 年 3 月 14 日 大津市保健所大会議室	重症難病医療拠点・協力病 院等関係機関 28 人	・在宅神経難病患者に対する取り組み状況報告 ・次年度の事業計画について

(8) 各種関係団体への支援

① 全国パーキンソン病友の会滋賀県支部活動支援

パーキンソン病医療講演会及び従事者研修会において、友の会の活動内容や加入の呼びかけを行った。

② ケアクラフト002（自助具工房）活動支援

特定疾患更新申請時に各会場で自助具の展示コーナーを設置し、自助具や活動内容の紹介等を行った。また、パーキンソン病医療講演会及び従事者研修会において、自助具の展示コーナーを設けた。

7 精神保健

(1) 精神保健福祉対策

保健所は、地域精神保健福祉活動の第一線機関として、精神障害者の早期治療や社会復帰を支援するため、専門医・心理士・保健師による相談・訪問指導、関係機関との定例事例検討会の開催、精神障害者の家族教室等の事業を行っている。

① 精神障害者保健福祉手帳の申請交付状況

(単位：件)

区分	1 級	2 級	3 級
18 歳以上	150	1,092	431
18 歳未満	2	6	4
計	152	1,098	435
		1,685	

年次推移

(単位：件)

等級	H20	H21	H22	H23	H24
1 級	114	112	125	140	152
2 級	841	808	876	968	1,098
3 級	351	341	372	390	435
計	1,306	1,261	1,373	1,498	1,685

② 通院医療費公費負担状況

(単位：延べ件)

区分	計		20 歳未満		20～29 歳		30～39 歳	
	男	女	男	女	男	女	男	女
大津市	1,826	2,020	128	76	194	254	422	430
	3,846		204		448		852	

区分	40～49 歳		50～59 歳		60～64 歳		65 歳以上	
	男	女	男	女	男	女	男	女
大津市	502	513	300	321	127	165	153	261
	1,015		621		292		414	

(2) 精神保健福祉相談、訪問等

精神疾患や精神障害を持つ人及び家族に対して、正しい知識を提供するとともに、本人及び家族が早期に適切な対処ができるよう支援することを目的として、専門医や保健師による相談を実施している。

(単位：件)

区分	相談、デイケア、訪問指導				相 談 (再掲)								
	実人員	新規者の受付経路			実人員	延 人 員							
		市町	医療機関	その他		社会復帰	高齢者	アルコール	薬物	思春期	心の健康	一般	計
男	147	7	2	38	109	4	4	6	3	77	36	80	210
女	114	18	4	30	85	1	3	1	2	12	38	66	123
計	261	25	6	68	194	5	7	7	5	89	74	146	333

区分	デイケア (再掲)		訪 問 指 導 (再掲)										電話相談 (含メール) 延人員
	実人員	延人員	実人員	延 人 員									
				社会復帰	高齢者	アルコール	薬物	思春期	心の健康	一般	計		
男	-	-	38	-	-	1	1	14	15	46	77	1,046	
女	-	-	29	-	5	-	1	-	14	24	44		
計	-	-	67	-	5	1	2	14	29	70	121		

① 一般精神保健福祉相談（医師によるもので、高齢者を含む）

A. 本人の年齢別、相談者の内訳

（単位：人）

区分	～19歳	20～29歳	30～39歳	40～49歳	50～59歳	60歳～	不詳	合計
本人	-	-	-	-	-	-	-	-
家族	-	-	3	2	-	5	-	10
保健師、福祉	-	-	-	-	-	-	-	-
その他	-	-	-	-	-	1	-	1
合計	-	-	3	2	-	6	-	11

B. 相談者別、本人の受療状況

（単位：人）

区分	未受診	受療中	治療中断	合計
本人	-	-	-	-
家族	10	-	-	10
保健師、福祉	-	-	-	-
その他	1	-	-	1
合計	11	-	-	11

C. 本人の年齢別、診断名の内訳（重複あり）

（単位：人）

区分	～19歳	20～29歳	30～39歳	40～49歳	50～59歳	60歳～	不詳	合計
統合失調症	-	-	-	1	-	1	-	2
神経症	-	-	-	-	-	-	-	-
アルコール依存症疑	-	-	-	-	-	2	-	2
高齢者精神病	-	-	-	-	-	-	-	-
パーソナリティ障害	-	-	-	-	-	-	-	-
妄想性障害	-	-	1	-	-	1	-	2
感情障害	-	-	-	-	-	-	-	-
心因反応	-	-	-	-	-	-	-	-
非定型精神病	-	-	-	-	-	-	-	-
認知症	-	-	-	-	-	2	-	2
発達障害	-	-	1	1	-	-	-	2
その他	-	-	1	-	-	2	-	3
合計	-	-	3	2	-	8	-	13

D. 相談医の指示の内訳（重複あり）

項目	件数
要医療、受診指導	7
主治医に相談	1
対応指導	13
その他	-
合計	21

② 思春期精神保健福祉相談（医師によるもの）

A. 本人の年齢別、相談者の内訳

（単位：人）

区分	～19歳	20～29歳	30～39歳	40歳～	計
本人	1	4	1	-	6
家族	5	6	5	2	18
保健師、福祉	-	-	-	-	-
その他	-	-	-	-	-
計	6	10	6	2	24

B. 相談者別、本人の受療状況

(単位：人)

区分	未受診	治療中	治療中断	合計
本人	3	1	2	6
家族	18	-	-	18
保健師、福祉	-	-	-	-
その他	-	-	-	-
計	21	1	2	24

C. 相談内容の内訳

項目	件数
ひきこもり	14
未就労	5
不登校・進路	4
暴力	-
強迫症状	-
パニック	-
その他	1
計	24

D. 相談医の指示の内容

項目	件数
要医療、受診指導	-
主治医に相談	-
対応指導	20
その他	4
合計	24

E. 本人の年齢別、診断名の内訳(重複あり)

(単位：人)

年齢	～19歳	20～29歳	30～39歳	40歳～	計
統合失調症疑	-	-	-	-	-
社会的ひきこもり	-	4	1	1	6
広汎性発達障害疑	1	5	3	1	10
強迫性障害	1	-	-	-	1
摂食障害	-	-	-	-	-
うつ状態	-	-	-	-	-
パーソナリティ障害	-	1	-	-	1
その他	4	-	2	-	6
計	6	10	6	2	24

③ ひきこもり心理相談

思春期相談で社会的ひきこもりや発達障害疑いと判断され、本人に対して継続的な相談が必要なケースについて、月1回、定例で心理士による面接を実施している。

12回 延べ30件 実人数3人

④ 定例ケース検討会開催状況

目的：精神障害者への個別支援を行うに際して処遇困難ケースや多問題を抱えるケースの検討を行い支援者が対応の方向性を明らかにする機会とする。

開催状況：6回

助言者：精神保健福祉センター 地区担当医 保健師

(単位：件)

開催回数		6
検討延べ件数		9
相談 経 路	保健所の保健師	1
	健康推進課・すこやか相談所の保健師	1
	あんしん長寿相談所のスタッフ	4
	学校の教師	-
	児童相談所・子ども家庭相談室の相談員	3
	生活福祉課のケースワーカー	-
	障害者相談支援事業所の相談員	-
事 例 の 対 象	一般	4
	アルコール	-
	思春期	1
	薬物依存	-
	発達障害	1
	パーソナリティー障害	3
	その他	-

(2) 家族教室、家族交流会事業

① 家族教室

目的：病気に対する正しい知識を習得し、家族への接し方や関わり方を学ぶ

対象：統合失調症の患者の家族で主治医に了承がとれ、継続して参加できる家族

区分	日時	参加者数	内容	スタッフ
第1回	平成24年10月11日 13:30～15:30	9人 [7家族]	医師による講話 「統合失調症という病気について」 家族交流	保健予防課 すこやか相談所
第2回	同年 11月12日 13:30～15:30	7人 [6家族]	大津市制度やサービスの紹介 家族交流	障害福祉課 オアシスの郷
第3回	同年 12月10日 13:30～15:30 (家族交流会と合同開催)	2人 [2家族]	湖の子会のお話 「湖の子会について、体験談」 家族交流	やすらぎの職員

② 家族交流会

目的：精神障害者をかかえる家族間で相互交流を深め家族の孤立を防ぐことで、家族がゆとりをもって暮らすことができ、主体的に活動への参加ができる

対象：平成23年度までに「家族教室」へ参加した精神障害者を抱える家族 (85家族)

区分	日時	参加者数	内容	スタッフ
第1回	平成24年6月18日 14:00~16:00	13人 (12家族)	特定非営利活動法人夢の木の見学と紹介 家族交流	保健予防課 すこやか相談所 障害福祉課 オアシスの郷 やすらぎの 職員
第2回	同年 9月14日 10:00~12:00	21人 (20家族)	障害者相談・生活支援センターやすらぎ の見学、利用者の体験談発表 家族交流	
第3回	同年 12月10日 13:30~15:30 (家族教室と合同開催)	12人 (12家族)	湖の子会のお話 「湖の子会について、体験談」 家族交流	
第4回	平成25年2月28日 13:30~15:30	15人 (17家族)	医師による講話 「統合失調症～家族の対応について～」 家族交流	

③ ひきこもり家族交流会

目的：ひきこもりケースの家族を対象に学習会および家族交流を通じて

- ・ひきこもりの理解をする。
- ・日頃の対応を見直せるよう支援する。

対象：思春期精神保健相談を利用し、医師の判定で精神疾患・障害が否定された15歳以上のひきこもりケースの家族。(27家族)

区分	日時	参加者数	内容	スタッフ
第1回	平成24年6月29日 14:00~16:00	7人 (5家族)	「滋賀県ひきこもり支援センターについて」 当事者会紹介、当事者活動の畑見学 家族交流・意見交換 助言者 ひきこもり支援センター保健師	保健予防課 やすらぎの職員
第2回	同年 10月26日 14:00~16:00	5人 (5家族)	「大津しごと・きずな応援事業～奏～について」活動紹介 家族交流・意見交換 助言者 大津しごと・きずな応援事業相談員	
第3回	同年 12月13日 14:00~16:00	5人 (5家族)	「ひきこもりと精神疾患について」 家族交流・意見交換 助言者 精神科医師(思春期相談担当)	
第4回	平成25年3月25日 14:00~16:00	9人 (7家族)	「ひきこもりの段階とその対応について」 家族交流・意見交換 助言者 臨床心理士(心理相談担当)	

(4) 精神保健福祉ボランティア連絡会

精神保健福祉関連の施設や地域でのサロンにおいて活動中のボランティアに対し、情報交換の場や学習の機会を設け、ボランティアの自主性を高め、活動の活性化を図ることを目的として実施している。70人に案内送付した。

区分	日時	参加者数(人)	内容
第1回	平成24年9月21日 15:00~17:00	15人	研修「統合失調症の理解とその対応について」 意見交換「地域での活動について」 助言者：石黒医師、保健所保健師
第2回	平成25年3月22日 14:00~15:30	12人	情報提供「地域でのサロンの活動状況について」 意見交換「地域での活動について」 助言者：支援センター精神保健福祉士、保健所保健師

(5) 従事者研修会

日時：平成24年6月26日 15:00~17:00「精神保健福祉従事者研修会」

場所：明日都浜大津 乳幼児健診室

内容：社会資源の紹介(医療機関、相談支援事業所、就労支援事業所、行政)と交流会

参加者：64名(医療機関9名、相談機関4名、就労支援機関9名、大津市保健師39名、他1名)

(6) 精神保健福祉担当者連絡会

地域移行支援事業の個別給付化にともない、地域支援部会に代わる場として、また、地域の課題を検討する場として、連絡会を今年度から実施した。

区分	日時	参加者数(人)	内容
第1回	平成 24 年 4 月 11 日 15:00 ~ 17:00	13 人	各機関の体制 地域移行支援、地域定着支援、居住サポート事業の進め方の検討
第2回	同年 10 月 15 日 15:00 ~ 17:00	12 人	地域移行支援、地域定着支援の実施状況と課題の検討 各機関の取り組み紹介
第3回	同年 12 月 4 日 15:00 ~ 17:00	18 人	地域移行支援・地域定着支援の実施状況と課題の検討 保健所の家族教室の内容検討

(7) 精神保健及び精神障害者福祉に関する法律に基づく申請、通報、鑑定状況

精神障害者又はその疑いのある者について、ただちに入院させなければ、精神障害のために自身を傷つけ、または他人を害するおそれがある者に対し、法律に規定する警察の通報等に基づき、その者について指定医の診察をさせるため、滋賀県に対し通報等の経由事務を行う。

① 申請・通知状況

(単位：件)

区分		大津市	市外	計
性別	男	38	5	43
	女	14	2	16
	計	52	7	59
申請・通報状況	家族	-	-	-
	本人	-	-	-
	住民・職場	-	-	-
	保健福祉医療関係者	4	1	5
	救急隊	-	-	-
	警察	36	6	42
	検察官	1	-	1
	矯正施設の長	11	-	11
	知事	-	-	-
計	52	7	59	

② 調査状況

(単位：件)

区分	申請	通報				計
	23 条	24 条	25 条	26 条	26 条の 2	
実件数	2	42	1	14	-	59
調査件数	2	42	1	13	-	58
診察件数 (27 条)	2	25	-	-	-	27
緊急措置入院数 (29 条の 2)	2	21	-	-	-	23

③ 診察状況

(単位：件)

区分	大津市	市外	計
要措置	17	6	23
措置不要	4	-	4
計	21	6	27

(8) 精神保健及び精神障害者福祉に関する法律に基づく措置入院の年次推移及び状況

① 年次推移

(単位：件)

年度	18	19	20	21	22	23	24
滋賀県	51	61	41	24	56	55	76
大津市	12	22	8	6	15	16	23

② 入院状況

(単位：件)

区分	平成 23 年度末	本年度中増減		平成 24 年度末
		措置命令	措置解除	
男	3	20	21	2
女	—	3	2	1

(9) 医療保護入院の入院届、退院届、定期病状報告

(単位：件)

年度	20	21	22	23	24
入院届	303	295	332	331	333
退院届	290	294	348	347	359
定期病状報告	158	197	196	183	181

(10) 自殺対策

滋賀県大津保健所において、平成18年度から20年度まで、自殺予防対策の一環として、3年計画でうつ予防対策事業の取組が行われた。

平成21年度からは、大津市保健所として、地域自殺対策緊急強化基金補助金も活用し、滋賀県大津保健所の事業を引き継ぐとともに、大津市自殺対策連絡協議会を設置する等、自殺対策に取り組んでおり、平成24年度は下記の事業に取り組んだ。

事業名	内 容
相談機関ネットワーク体制構築	<ul style="list-style-type: none"> ・大津市自殺対策連絡協議会 第1回（平成24年7月26日）：出席者21人 自殺の現状、今年度の取組み、自殺未遂者対策についての検討 第2回（平成25年1月31日）：出席者20人 自殺再企図防止ケアモデル事業（仮題）についての検討、各機関の取組みの情報交換
うつ病重症化予防促進事業	<ul style="list-style-type: none"> ・大津G-Pネット定着促進会議 第1回（平成24年7月26日）：出席者13人 一般診療科と精神科の連携に関する調査結果について、G-Pネット活用の取組みについての検討 第2回（平成25年1月31日）：出席者13人 G-Pネット活用の取組みについての検討、自殺再企図防止ケアモデル事業についての検討 ・地区別交流会（医師会の移動懇談会の中で医師会行事として実施） 3・4組：平成25年2月2日、34人（精神科医3人） 7・8組： 同年 3月9日、23人（精神科医2人） ・精神科への一般診療科との連携に関する調査を実施 対象：精神科医療機関16カ所、回収率100%
人 材 養 成 事 業	<ul style="list-style-type: none"> ・公共職業安定所職員向け研修会（平成24年9月13日） 参加者数：36人 「自殺をほのめかす方への対応について」 講師：琵琶湖病院 石田医師 ・自殺未遂者支援者研修会（平成25年3月19日） 参加者数：74人 ※自殺対策強化月間の取組みとして県と共催で実施 「自殺未遂者の理解と援助」 講師：自殺予防総合対策センター 松本医師 「自殺未遂者実態調査の結果」 講師：滋賀県立精神保健福祉センター 野坂保健師 「自殺未遂者支援の取組み」 講師：彦根市障害福祉課 棚瀬保健師 「救急告示病院での取組み」 講師：国立滋賀病院 山脇専門員 「今後の大津市の自殺未遂者対策の取組み」 保健所保健師
普 及 啓 発 事 業	<ul style="list-style-type: none"> ・自殺予防週間の啓発（平成24年9月10日～16日） 保健所、健康推進課、すこやか相談所にのぼりを設置 膳所駅前と石山駅前啓発用ティッシュを2,000人に配布（9月10日） ・健康フェスティバルでのストレス度チェック（平成24年10月12日） 参加者数：168人 ・理容師美容師組合の研修会でうつ病の知識と相談機関を説明（9月3日） 参加者数：51人 ・出前講座「ストレスチェックをしてみませんか」 実施回数：6回、参加者数：110人 ・医師会の出前講座への参画 平成24年5月26日 講師：平岡医師 参加者数：24人 同年 7月21日 講師：石黒医師 参加者数：15人 同年 8月11日 講師：有村医師 参加者数：16人 同年 11月10日 講師：柴原医師 参加者数：28人 ・自殺対策強化月間の取組み 自殺対策啓発定規1万本を作成 ・離職に伴う総合相談窓口への情報提供 ルネサス：平成24年10月18日～25日の中の6日 参加者数：223人 旅亭紅葉：平成25年 1月16日～17日の2日 参加者数：68人

8 健康被害

(1) 原子爆弾被爆者状況

「原子爆弾被害者に対する援護に関する法律」に基づく医療費の給付、各種手当の支給に関する申請窓口事務、健康診断、被爆二世に対する健診案内、訪問介護費用の公費負担申請窓口事務を実施している。

① 被爆者健康手帳交付状況・各種手当受給者状況

(単位:件)

	件数
被爆者健康手帳交付者数	174
健康診断受診者証交付者数	10
医療特別手当受給者数	7
特別手当受給者数受給者数	4
原子爆弾小頭症手当受給者数	-
健康管理手当受給者数	118
保健手当受給者数	11
保健手当(増額分)	-
介護手当受給者数	-

② 被爆者健康手帳交付年次別推移

(単位:件)

年度	20	21	22	23	24
大津市	192	193	187	182	174
滋賀県	457	454	439	429	406

(2) 原子爆弾被爆者定期健康診断実施状況 (単位:人)

	1回目	2回目	3回目
対象者数	192	191	185
受診者数	31	18	22
受診率	16.1%	9.4%	11.9%
要精検者数	7	5	7

(3) 原子爆弾被爆者がん健康診断実施状況年次別推移

(単位:人)

年度	20	21	22	23	24
対象者数	191	191	190	186	182
申込者数	35	39	35	32	30
受診者数	34	39	34	30	29
要精検者数	18	18	13	7	10

(4) 原子爆弾被爆者二世健康診断実施状況年次別推移

(単位:人)

年度	22	23	24
対象者数	78	78	82
申込者数	29	38	29
受診者数	29	38	29
要精検者数	7	7	7

(5) アスベスト対策事業

アスベスト(石綿)による健康被害を受けられた方、または、その遺族の方で、労働災害の対象とならない方に対して支給される救済給付の受付事務を実施している。

申請者数	3人
------	----

